



ひらつかアリーナ完成記念の試合

17 議案を原案可決 市税条例の一部改正など

9月定例会

平成十六年市議会九月定例会は、八月二十七日から九月二十八日まで、会期三十三日間で開催しました。

今定例会では、地方税法が一部改正されたことに伴い十七年度分の個人市民税の均等割の特例等を定める「平塚市市税条例の一部を改正する条例」など条例の一部改正の議案が二件、一般会計および特別会計等の補正予算案が四件のほか、教育委員会委員の任命および固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

を求める人事案件の議案などが市長から提案され、報告を除く一五議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、十五年度の一般会計・特別会計および病院事業の各決算の認定に係る二議案については、詳細な審査を行うため決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。議員提出の会議案では、「競輪事業のさらなる改革を求める意見書」を含む二会議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

一般会計補正予算 五億九八二万円余を追加

今定例会では、一般会計補正予算五億九八二万六〇〇〇円をはじめ、特別会計の補正予算が市長から提案されました。議案では、いずれも原案どおり可決しました。

今回の一般会計補正予算の内容は、総務費では、防災行政用無線機等移設経費などを追加計上し、増設する自転車等駐車場の経費を措置しました。民生費では、保育所の維持補修費などを追加計上し、西部福祉会館建設予定地の測量委託経費や町内福祉村開設に向けた城島分庁舎の改修経費を措

置しました。衛生費では、ごみ減量化・資源化協力店実態調査経費などを措置しました。農林水産業費では、農道や用排水路の維持補修費を追加計上しました。土木費では、市道維持管理経費や総合公園の体育館、競技場等の改修費などを措置しました。教育費では、学習支援補助員派遣事業費を追加計上し、小・中学校校舎等の維持補修費などを措置しました。

以上の結果、一般会計の予算総額は、八一九億八八二万六〇〇〇円となりました。また、債務

負担行為として、旭小学校区児童保育施設借上料を設定しました。

特別・病院会計

競輪事業特別会計では、記念競輪売上増に伴う車券発売収入および記念競輪開催時に不足が生じた経費について、既定予算の普通競輪開催経費を充てて対応したため、今回、不足する普通競輪開催経費を追加計上しました。また、開催が決定した施設等改善競輪の車券発売収入およびその経費を措置するとともに、基金を財源として臨時従事員を

対象とする早期離職者せん別金を措置しました。下水道事業特別会計では、繰越金を財源として、ポンプ場および管渠施設の維持補修費等を追加計上しました。

病院事業会計では、保険金を財源として医療事故の訴訟に係る弁護士着手金を計上しました。

市功労者に 吉野前市長

平塚市功労者表彰条例

決算特別委員会を設置 正副委員長を選出



九月定例会では、平成十五年

会計・特別会計および病院事業の各決算について、市長から認定を求められました。そこで議会では、詳細な審査を行うため、決算

により、前市長の吉野稜威雄氏を市功労者に表彰する追加議案が市長から提出されました。同氏は平成七年に市長に就任以来、二期八年間にわたり数多くの事業を展開し、市政発展と市民福祉の向上に尽力されました。議事では全会一致で可決しました。

教育・固定資産 評価審査の各委員 選任に同意

今定例会最終日には、平成十六年九月三十日で任期満了の教育委員会ならびに固定資産評価審査委員会の各委員の任命および選任について、市長から議会の同意を求める議案が提出されました。教育委員会委員には宮川利男氏(市内西八幡)、落合重雄氏(市内大島)の二人を任命し、固定資産評価審査委員会委員には芦川恭子氏(市内四之宮)を選任するものです。議事では各氏とも適任者として同意しました。

紙面の構成のご案内

9月定例会 議案の審議結果	1面	経済	5面
行財政全般	2面	環境・安心安全	6面
行財政全般	3面	決算・行政一般	7面
まちづくり	4面	福祉・教育	8面